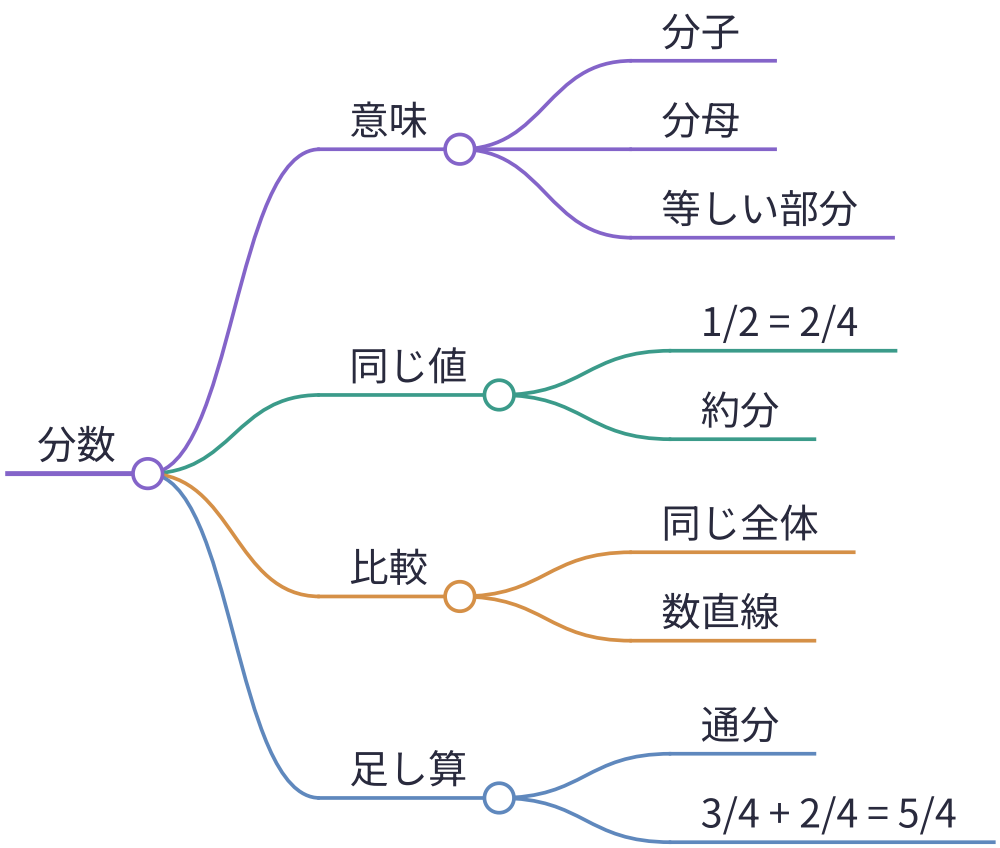
分数

等しい大きさの部分と数の意味を結び付けます。



枝を一つずつ読み、細部を隠して自分の言葉で説明してみましょう。

内容を理解する

分母は全体を等しく何個に分けたか、分子はその何個分かを表します。同じ数を異なる分数で表せます。例えば1/2 = 2/4です。足し算では部分の大きさをそろえます。図で比べるときは全体の大きさにも注意が必要です。

マップの構成

意味、同じ値、比較、計算の順に整理します。

> **ここに注意**
> 分母同士と分子同士をそれぞれ足す方法では正しい和になりません。

自分で考えてみよう

同じ大きさの長方形で3/4と1/2を表し、合計を求めましょう。

考えてみよう：二つの問い

分母は何を表しますか？

分母は全体を何個の等しい部分に分けたかを表します。

3/4 + 1/2はいくつですか？

1/2を2/4と表し、3/4と足すと5/4です。

参考資料

openstax.org
https://openstax.org/books/prealgebra-2e/pages/4-1-visualize-fractions

Studera.aiが作成した学習用の作例です。studera.ai/ja/gakushu-shiryo/mindmap-rei でマップを活用できます。